

花の里づくりの会

第21号会報 2025年5月発行



第十三回記念樹《平成30年3月植樹》

アメリカザイフリボク (撮影：小松賢吉氏)

科：バラ科 属：ザイフリボク
和名：アメリカザイフリボク (花桃)
英名：Juneberry
原産地：アメリカ 開花期：4～5月ごろ

落葉で樹高は0.5～8mほど。早春に5弁の白い花を咲かせ、果実は直径7～10mm、6月頃に黒紫に熟し、細かい種子を含む。果実が6月(June)に収穫できるところから、ジューンベリー(英: Juneberry)という名称がついたとされる。「ザイフリボク」は「采振木」の意で、白い花を采配に見立てたもの。寒さには強いが、夏期の乾燥にはやや弱い。1本でも結実性が高く、日本でも育てやすい種である。



花の里づくりの会 会長 米 山 幸

ごあいさつ

新羽地区の皆様、会員の皆様、行政関係者の皆様には、日頃よりご支援、ご協力をいただき感謝と共に厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で縮小、休止していた諸行事も徐々に活動を復活して、新羽地区でも皆様がいろいろな活動に取り組んでいます。消防団の訓練をはじめ、サマーフェスティバル、健民祭、新年賀詞交歓会、新羽杉山神社神輿会設立40周年記念パーティー等が盛大に開催されました。新羽地域ケアプラザでは各種サークル活動も子どもたちから高齢者まで、多くの参加者で楽しい時間を過ごしたり、憩いの場所として利用されています。

さて本会の活動も早いもので、今年21年を迎えることになりました。毎年のことですが、昨年も新羽地区内のお寺さんに花苗、球根、花木を提供し植えていただきました。近年では各お寺さんにて、(後ページの写真参照)四季折々の花が楽しめるようになってきています。近隣の皆様の集いの場、憩いの場所として利用されることが本会の趣旨ですので、ぜひ皆様で見て、楽しんでいただけると幸いです。

今年も2月25日快晴の空の下、新羽丘陵公園にて第20回目の新羽小学校卒業記念植樹祭が開催されました。今年の記念樹は卒業生の希望でミモザアカシアを提供させていただきました。新羽小学校を巣立つ卒業生の思い出の一つとして記憶されれば大変有り難く思います。植樹祭にはご多忙の時期に、ご臨席いただきました港北区長はじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

本会は新羽高等学校、新羽ケアプラザ、新羽の未来を作る会、新羽丘陵公園等にも花苗を提供し支援を継続しています。会員の皆様、地域の皆様には日頃より本会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。これからも「花の里づくりの会」の継続的活動にご支援、ご協力、よろしくお願い申し上げます。



アメリカザイフリボク



シダレハナモモ

2024年度の植栽及び事業実績

- ◆新羽丘陵公園◆ 丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆ 通学路の美化整備の花の苗の協力 5月、11月
- ◆市立新羽小学校◆ 卒業記念樹 ミモザアカシア 1本
- ◆光明寺◆ クリスマスローズ 20株、 ニオイバンマツリ 3本、 キツネのカミソリ 100球
ヒメヒオウギ 100株、 ニホンスイセン 50球、 ヒガンバナ 赤 100球
- ◆西方寺◆ ヒガンバナ 赤 300球、 ヒガンバナ 黄 200球、 アザレアツバキ 5本、
クリスマスローズ 10株
- ◆善教寺◆ ツバキ 5株、 クルメツツジ 5株、 ヤマモミジ 5本
- ◆蓮華寺◆ シャクヤク 4本、 クリスマスローズ 5株、 夏ツバキ 2本
- ◆専念寺◆ ブルーサルビア 270株、 ユーホルビア 90株、 インパチェンス 90株、
ペチュニア 270株、 ニチニチソウ 135株、 パンジー 200株
- ◆新羽未来の会◆ 春・秋 花苗提供
- ◆新羽ケアブラザ◆ マリーゴールド

2025年度の植栽及び事業計画

- ◆新羽丘陵公園◆ 丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆ 通学路の美化整備の花の苗の協力 5月、11月
- ◆市立新羽小学校◆ 卒業記念樹 未定 1本
- ◆光明寺◆ ヒガンバナ 赤 100球、 フリージア 黄 100球、 サフラン 100球、
クリスマスローズ 20株、 ヤマユリ 15球、 レンギョウ 20本
- ◆西方寺◆ ヒガンバナ 赤 300球、 ヒガンバナ 黄 300球、 ヒガンバナ 白 100球、
ヒガンバナピンク(サツマビジン) 500球、 アザレアツバキ 2本、 ミモザ 2本
- ◆善教寺◆ ツバキ 5株、 クルメツツジ 5株、 ヤマモミジ 5本、 なんじゃもんじゃ 1本
- ◆蓮華寺◆ ニホンスイセン 50球、 ヒガンバナ 赤 50球、 ヒガンバナ 黄 50球、
- ◆専念寺◆ ブルーサルビア 300株、 ユーホルビア 100株、 コリウス 100株、
ペチュニア 300株、 ニチニチソウ 150株、 パンジー 300株
- ◆杉山神社◆ 必要があれば植える
- ◆新羽未来の会◆ 春・秋 花苗提供
- ◆新羽ケアブラザ◆ マリーゴールド

西方寺

横浜市港北区新羽町2586番地
TEL (045) 531-2370

彼岸花 9月



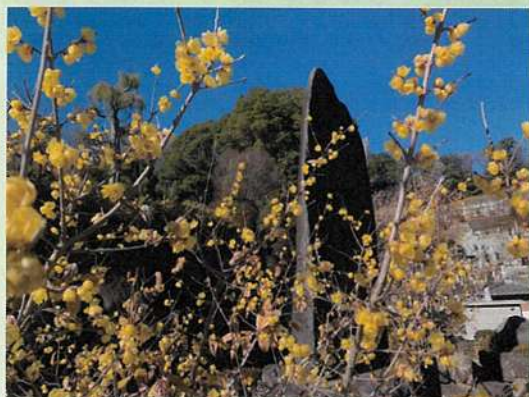
クリスマスローズ 4月



彼岸花 9月



蠟梅 1月



ミモザ 3月



光明寺

横浜市港北区新羽町3990番地
TEL (045) 591-0590



オオデマリ 4月



コデマリ 4月



シモツケ 5月



エビネ 5月



ギンバイカ 6月



蓮華寺

横浜市港北区新羽町3952番地
TEL (045) 591-0220

八重桜 4月



日本水仙 1月



蟠梅 1月



クリスマスローズ 2月



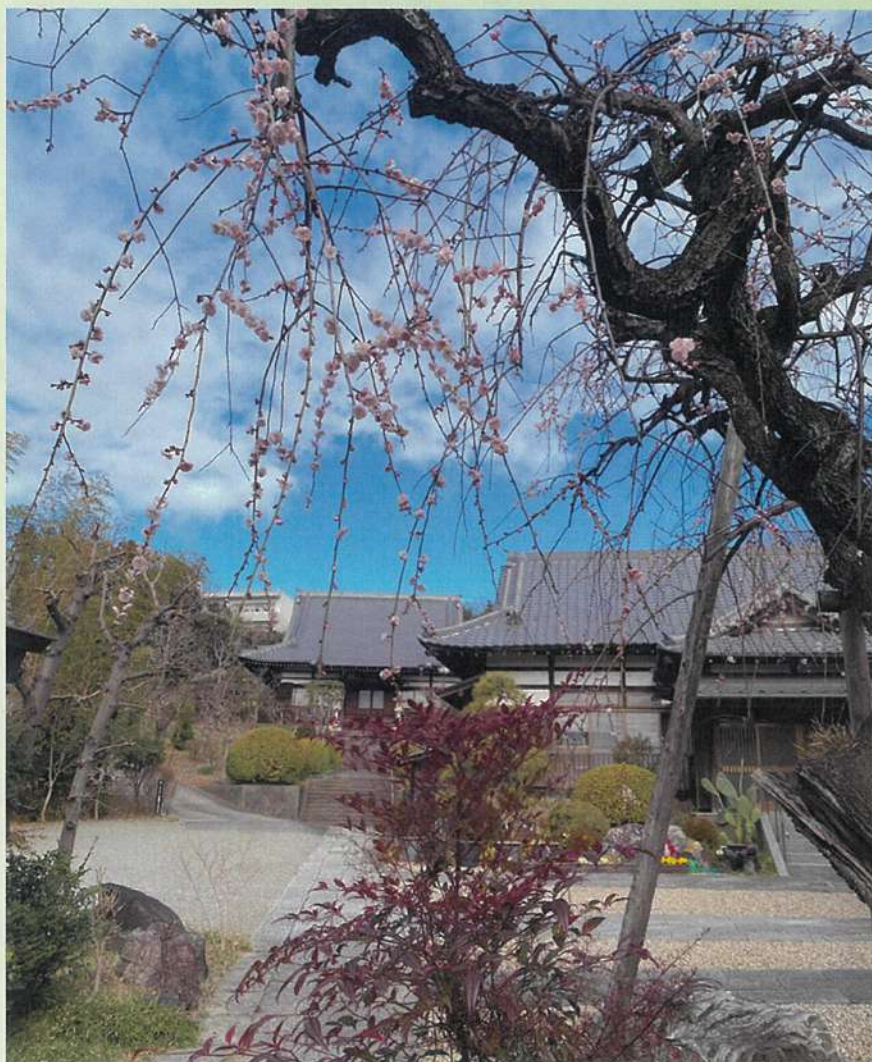
あじさい 6月



専念寺

横浜市港北区新羽町1578番地
TEL (045) 531-1518

梅 1月



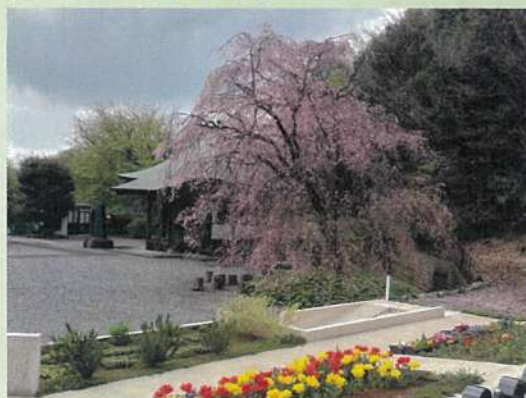
桜 4月



チューリップ 4月



桜・チューリップ 4月



藤 5月



善教寺

横浜市港北区新羽町 2396番地
TEL (045) 541-7684

百日紅 8月



紫式部 7月



桔梗白 8月



醉芙蓉 11月



みかん 11月



卒業記念植樹



No.

私たちは、今年、卒業を記念して、ミモザアカシアの木を植えます。ミモザアカシアの花言葉のよりに、友情や感謝を今、将来、大切にしたいです。数年後、ミモザアカシアが花を咲かせる三月か四月に丘陵公園でミモザアカシアを見て小学校生活を思い出すことやそれとともに自分の成長を感じられるといいです。

長澤

咲楽

ミモザアカシアを見上げて



卒業記念植樹



No. _____

に	し	友	を	人	し	で	情	ミ
来	こ	情	伝	に	た	植	が	モ
て	の	を	え	助	。僕	樹	あ	ザ
み	木	絶	た	け	。た	い	る	ア
た	も	や	い	て	ち	う	そ	カ
い	成	さ	で	も	は	い	う	シ
思	長	ず	す	ら	こ	貴	で	ア
い	し	こ	の	の	の	重	す	の
ま	た	の	木	六	六	な	地	花
し	り	木	の	年	年	体	域	言
た	家	の	よ	間	で	験	の	葉
。	族	う	う	た	た	を	人	は
	や	に	の	た	く	す	々	「
	友	す	花	く	さ	る	ち	感
	達	く	言	ん	ん	こ	の	謝
	と	成	葉	地	地	と	の	、
	一	長	の	域	域	が	お	友
	緒	に	「	」	」	で	か	
	見	に	感			き	げ	
			謝			ま		
			し					

感謝

開野 春





感謝の記念植樹

新羽小学校 校長 佐藤 恵子

心地よい春の日差しを感じながら、卒業記念植樹のため6年生と新羽丘陵公園を訪れました。公園では歴代の卒業生が植えた記念樹が、私たちを出迎えてくれました。

2月25日、丘陵公園での最後の学習の時間です。

この6年間、丘陵公園は大切な学習の広場でした。季節を感じたり地域づくりについて考えたり、ふるさとや遠くに広がる未来に思いを巡らせたりと教室ではできない学びがたくさんありました。6年間の感謝の気持ちを一本の苗に込めて、みんなの手で植樹します。

6年生が植樹に選んだ木はミモザアカシアです。小さな花が寄り集まって咲く花木です。いつも優しい笑顔でお互いを支え合ってきた6年生の想いが感じられ、これからも心のつなぎを支え合って生きていってほしいと思いました。

新羽の花の里づくりの会に代表される緑豊かなまちづくりには、ふるさとを大切にする温かな風土が感じられます。そして、卒業を控えた6年生にとって、この記念樹は自分たちが育った町に感謝を伝える大切な機会となっています。

ご尽力いただきました花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会をはじめ、関係機関の皆様に感謝申し上げますとともに、これからも卒業生の成長を見守り支えていただきますようお願い申し上げます。





新羽丘陵公園愛護会
会長 中山 正



日頃より、新羽丘陵公園愛護会の活動に、ご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。愛護会は、近隣の皆様や、新羽小学校の校長先生をはじめとする先生方、PTA 関係者様のご協力を得て、また多くのボランティアの力によって支えられています。毎月行われる、草刈りや清掃活動には多くの方々が、公園の美化に貢献してくださっています。

2023 年には、港北土木事務所のご配慮と近隣の皆様のご協力により公園が拡張され、新たな散歩コースが整備されました。この拡張により、さらに多くの方々が公園を利用し、美しい緑を楽しむ事が出来るようになりました。新羽小学校の卒業生たちは毎年この公園に記念植樹を行っています。今年で 20 回目を迎えるこの伝統は、公園の緑を豊かにするだけでなく、卒業生達にとっても忘れられない思い出となり、植樹された木々と共に、成長の象徴となっています。

「花の里づくりの会」の皆様と今後も力を合わせ、地域の自然環境を守り未来の世代に美しい里を引き継いで行くために、引き続き連携していただければと思います。

結びに関係者皆様に深い意を表し、挨拶とさせていただきます。



港北区長 竹下 幸紀



新羽丘陵公園愛護会
副会長

新羽小学校 6 年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今日、植樹してもらった新羽丘陵公園は、平成 8 年（1996 年）に開園し、今年で 29 年目を迎えます。現在は約 3 ヘクタールという大きさですが、最初は 1.8 ヘクタール、今の大きさの約 6 割しかありませんでした。そこから、少しずつ、周りの方々から土地を協力していただき、公園を広げ、ここまで大きくなりました。

みなさんが新羽小学校に入学した時には、ほぼ今の形でしたが、実は地域の皆様や先輩方の協力があって、自然豊かな景観が創られ、保たれてきました。そして、20 年前に皆さんの先輩から始まった記念植樹によって、約 50 本もの木々が植えられ、このように立派に育ちました。

今日、植えてもらったミモザアカシアも、これから大きく育ち、公園の新たな景色を作ってくれます。来年の 3 月ごろには、美しい黄色い花も咲くと思いますので、楽しみに待っててください。

さて、皆さんは「GREEN×EXPO2027」を聞いたことがあるでしょうか。2 年後の 2027 年に横浜で初となる国際園芸博覧会が開催されます。多くの国や企業が創り上げる花や緑の展示のほか、「ビレッジ」という食や文化など様々なテーマに応じた出展が楽しめます。テーマは「幸せを創る明日の風景」ですが、この公園も 20 年前から地域や卒業生など多くの方々が、植樹して創り上げてきた風景であり、脱炭素を目指す園芸博の理念に通じていると感じています。今回の植樹をはじめ、この公園での取り組みを通じて、皆さんと一緒に園芸博を盛り上げていきたいと思っています。

今日の植樹式の準備に関わられました、花の里づくりの会や新羽丘陵公園愛護会の皆様、新羽小学校の先生方、本当にありがとうございました。

また、今日の植樹を思い出にこれからも「ふるさと港北」で育ち、新羽丘陵公園の環境を次の世代につないでほしいと願っています。

神奈川県立新羽高等学校の美化整備

日頃より、本校の教育活動につきましてご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。今年も、環境整備委員会の生徒が中心となって、正門前と正門左手の植え込み、生徒昇降口と正面に花の苗を植栽しました。これもひとえに「花の里づくりの会」のご支援のおかげです。この場をお借りして深く御礼申し上げます。植栽後は環境整備委員会の生徒が当番を決めて水やりを行い、大切に育てています。パンジー、ビオラ、マリーゴールド、アリッサムなど、色とりどりの花々が、一年を通じて美しく咲いており、本校生徒のみならず、来校される保護者や学校関係者の方々、また、散歩などで学校周辺を通られる地域の皆様の心を和ませるものとなっております。本当にありがとうございます。

「花の里づくりの会」の皆様の、新羽の環境緑化のご尽力に感謝申し上げますとともに、今後も新羽高校を温かく見守っていただき、ご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024 年度 神奈川県立新羽高等学校 副校長 瀧川美樹





新羽地区社会福祉協議会では、毎年新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウスで行われている『世界アルツハイマー月間』にあわせて、認知症への理解を広める『オレンジの輪プロジェクト』の活動に賛同し、オレンジ色のマリーゴールドを新羽地区に植栽してきました。それらのたくさんのマリーゴールドの苗は、毎年『花の里づくりの会』から寄付をいただいております。本年度は『オレンジの輪プロジェクト』のイベント参加者にお礼として、お渡しいたしました。自宅や道路端など人目につきやすい場所に植えていただき、新羽地区に明るいオレンジ色をどんどん増やしてほしいです。本年度、新羽地区社会福祉協議会に入ったばかりの私には何もかも新鮮で、『自分達の町は自分の力で！』をモットーに活動していることに感動しました。また『誰もが安心して暮らせる町』を目指し、1人でも多くの方にこの認知症啓発活動『オレンジの輪プロジェクト』のことを知ってほしいと思っています。新羽地区にたくさんのきれいなマリーゴールドが咲きますように！（事務局）



新羽の未来をつくる会



新羽町連合町内会と新羽地区社会福祉協議会の後援のもと活動している「新羽の未来をつくる会」は、平成27年に発足し今年で10年目を迎えます。主な活動は花の里づくりの会よりご提供いただく花の苗を、高架下のプランターに植えて町を明るくする活動です。この「新羽の町を花で明るくしたい！」という会の思いにご賛同いただいたボランティアの方々が水やり等の管理を行っています。また地域の保育園児と交流をしながら、年に数回植え替えをし、生活の中に自然ときれいなお花が目にとまるよう工夫をしています。

これからも明るく美しい花とともに、新羽の町の明るい未来につながるような活動を続けてまいります。地域の皆様もぜひ、プランターに植えられた愛らしい花々を愛でに来てください。



ご挨拶

「花の里づくりの会」の会報も21号となりました。

この間、ふるさとに花木を植えて、潤いと特色のある地域づくりを目指し、自然豊かな新羽の寺や神社、新羽丘陵公園での新羽小学校卒業記念植樹など、それぞれ特色のある花木などを植えてまいりました。

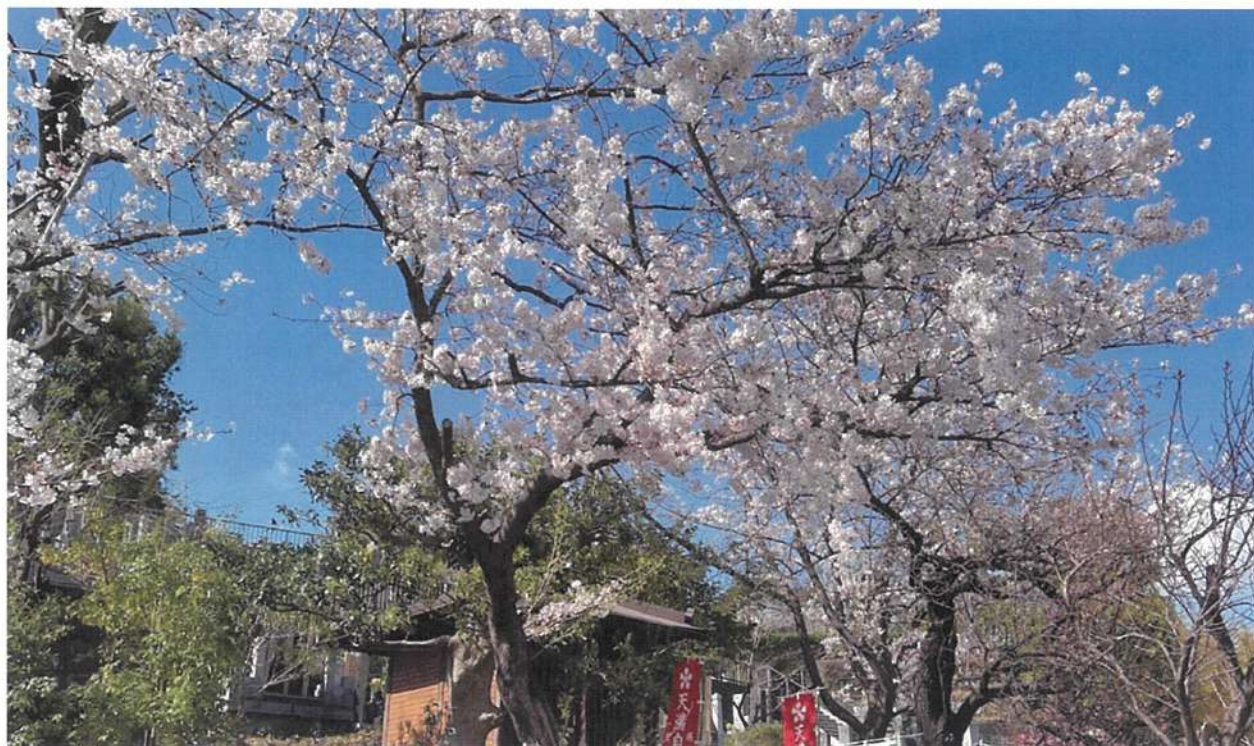
善教寺では、自称天台山（以前は、天台宗だったそうです）の山林整備を進め、公園化を行っています。（天台山御坊公園）、頂上からは富士山を眺める事ができる高台です。そこには、シーソー、ベンチ、ブランコなどが置いてあります。

また花の里からの「梅」、「桜」、「椿」、「雪柳」などが植樹されていますが、住職も老体になり、なかなか整備が進みません。近隣の子供達が時々遊びに来る程度です。

今後ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

花の里づくりの会顧問

善教寺 平等勝尊



光明寺 新羽天満宮

花の里づくりの会は、「ふるさとに花木を植えて、潤いと特色のある地域づくり」を目指して、平成16年に発足しました。以来、自然豊かな新羽の寺や神社、新羽丘陵公園、学校などに、それぞれ特色のある花木を植えてまいりました。本会では、趣旨にご賛同いただける新たな会員を募集しております。尚、本会は会員の皆様の会費で運営しております。お問い合わせがありましたら、事務局（下記参照）までご連絡ください。皆様のご協力をお待ちしております。

花の里づくりの会 会報第21号 2025年5月発行
発行者／花の里づくりの会 会長 米山 幸
お問合せ先／事務局 中山憲治 TEL 090-3099-1418
印刷／有限会社 田丸文林堂

花の里づくりの会 案内図

